



ETIENNE FREY

エチエンヌ・frey：スイスのダンサー、振付家、ダンス教師。俳優一家に生まれ、シュツットガルト、アントワープでクラシックバレエ研修修了後、ニューヨークへ渡り、ジョージ・バランシン率いるスクール・オヴ・アメリカン・バレエへ留学。ベルギー王立フランドルバレエ団、ブリュッセルのモーリス・ベジャール 20 世紀バレエ団に所属後、トスカーナバレエ団でソリストとして活躍。1984 年に現代ダンスカンパニー、シノピア・アンサンブル・ドウ・ダンスをスイスで創設、18 年間で 50 作品を発表、国内外で公演を行う。

主な受賞歴：

- 1984 年 スイス、ニヨン振付コンクール第一位
- 1986 年 フランス、ヴェゾン・ラ・ロメーヌ・ダンス審査委員賞、観客賞
- 1996 年 セルジュ・リファール国際振付コンクール金賞
- 1997 年 アリシア・アロンソ国際コンクール金賞、ハバナ市賞
- 1998 年 ロータス振付賞
- 2001 年 ニジンスキー賞

主な振付作品：ラ・バヤデール（ジュネーヴ、グランテアトルバレエ団）、ゾルバ（チューリッヒ、コンGRESハウス）、フェイス・トゥ・フェイス（ニューヨーク、国際連合本部）、アスタ・ラ・テルニユラ・シエンブレ！（メキシコ、エスパシオバレエ劇場）、夏の夜の夢（スロヴァキア国立劇場）、星を蒔く人（アムール・ド・ラ・ダンス財団）。近年は、ゴールドベルグ変奏曲に着想を得たアリア・ダ・コルポ（アマルテア）、ラ・ヴァルス（リエカ、クロアチア国立オペラ劇場）。

スイス政府公認顧問として様々なダンス組織に従事、2011 年にはフランス国立ダンスセンターにて舞踊教授国家資格を取得。ユネスコ国際ダンスカウンスル加盟。

ジュネーブを拠点に、通年ダンスクラスや振付創作活動と平行して、身体、動き、言語を繋ぐ脳機能に関連するリサーチを進め、神経科学の研究にも参加。身体を使った様々なアプローチとダンステクニックが肉体と精神にもたらす有効性を、恵まれない地域の若者たちと共有し、現代社会に於ける暮らしの質を向上させることを目的とした非政府組織や私立財団との人道的共同作業にも参画。